

令和5年度 第1回

八王子市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会

次第

令和5年(2023年)5月9日(火)

午後3時00分～5時00分

八王子市役所議会棟4階 第6委員会室

1 開会

2 議事

(1) 第4期八王子市地域福祉計画の策定骨子について

3 報告

(1) 福祉部職員による不適切発言事案の再発防止に向けた改善策の取組状況について

(2) はちまるサポート由井の移転について

4 その他

5 閉会

【配付資料】

- ・ 第3期 八王子市社会福祉審議会地域福祉専門分科会委員名簿 (R5.4.1時点)
- ・ 【資料1-1】 第4期八王子市地域福祉計画の策定骨子について
- ・ 【資料1-2】 第3期地域福祉計画における達成状況について
- ・ 【資料1-3】 第4期地域福祉計画スケジュール
- ・ 【資料1-4】 意識調査報告書へのご意見と回答
- ・ 【資料2】 はちまるサポート由井の移転について

【本年度の地域福祉専門分科会開催予定】

第1回：令和5年(2023年)5月9日(火) 本会

第2回：令和5年(2023年)7月31日(月)

第3回：令和5年(2023年)10月17日(火)

第4回：令和6年(2024年)2月6日(火)

第4期八王子市地域福祉計画 の策定骨子について

～ つながる 地域で つなげる 未来 ～

令和5年（2023年）5月9日
地域福祉専門分科会
福祉部福祉政策課



令和5年度第1回分科会の論点

第4期地域福祉計画の「目標」と「めざす姿」等に関するご意見

- (1) 基本的なコンセプト(市が目指す地域共生社会の実現イメージ)
- (2) 第4期計画の「基本目標」と「めざす姿」
- (3) 計画の位置づけを踏まえた横断的な取り組み推進の方向性
- (4) 地域福祉計画におけるアウトカム(評価指標)

前回地域福祉専門分科会 (R5.2.13) での主なご意見

1 計画全般(策定の方向性等)

- ・「福祉」という言葉ではなく「まちづくり」など、担い手が参加しやすい表現でもよいのでは
- ・担い手の範囲(定義)を明確にしたほうがよい。
(前期は「市民力」や「協働」に広がりが出てきた背景があり、「地域住民」に焦点をあてた。)
- ・八王子市は自然が豊かなので、その要素も盛り込んではどうか。
- ・地域づくりの推進力として官民一体の共創が必要

2 基本理念(基本目標)について

- ・市の基本構想・基本計画と齟齬がない目標設定が必要
- ・分かりやすい表現にしたほうがよいのではないか
- ・現行のままで良いが、八王子らしい新たな要素を加えてもよいのではないか
- ・「めざす姿」で特徴を強調してもよいのではないか
- ・目標はこのままでよい。市民力・地域力も継続でよいのでは。強調部分の啓発を工夫する
- ・「誰もが」の誰が曖昧、「つながり」は第4期のキーワードになる。

第4期計画の基本目標と目指す姿

基本目標（変更なし）

だれもが

地域の中で共に支えあい、

安心して

元気で生き活きと暮らすことができる

まち（づくり）

- … 市民（未来デザイン2040の定義とあわせる）
- … 支える・支えられる側の垣根を超えた多様なつながり
- … 「安心」が実感できる生活環境
- … 健康を守る、生きがいを持てる仕組みがある
- … それらが“**つながる**”、暮らしやすいまち

めざす姿（一部変更）

“市民力・地域力”地域における つながりあい（一部変更）

- ・ 市民同士が「**つながり**」、地域課題やニーズを共有・解決できる「**地域自治**」が醸成される地域
- ・ 様々な社会資源（参加や活動の場）と市民が「**つながり**」、生きがいを感じるができる日常
- ・ 多様な主体が「**つながり**」を持ち、一体となって暮らしやすい地域を創る「**共創**」のまち
- ・ 行政機関等が「**つながり**」、複合的な課題も連携して取り組むことができる地域福祉の充実

第4期計画策定で踏まえるべき視点（未来デザイン2040）

～「八王子未来デザイン2040」の基本構想を踏まえた計画推進～
人とひと、人と自然が響き合い、**みんなで幸せを紡ぐ**まち八王子

【基本構想を踏まえた策定におけるトピック】（R5.2.13分科会資料2-1 P.6より一部補足）

ア. 「**みんなで目指す2040年の姿**」を目指した「地域福祉分野」の推進

- 02. 住み慣れた地域で元気に年を重ね、人生100年時代を生き生きと暮らしている
- 03. それぞれの個性を互いに認め合い、それぞれが望むフィールドで活躍している
- 05. 子どもの幸せをみんなで分かち合い、安心と喜びを持って子育てしている

イ. 市が進める「地域づくり（まちの活力を生む「**地域自治**」）」と連動した施策展開

ウ. 多様な地域づくりの担い手（住民、事業者、福祉関係者等）との「**共創**」

※ 基本計画より抜粋…市民に加え、働く方や学ぶ方、企業、大学、活動団体など 多様な主体のこと

いわゆる…2040の姿を踏まえた 「**地域共生社会**」の更なる推進（目指す姿）

“つながる”



多様な “つながる” で充実する 「地域福祉」

つながる 地域で つなげる 未来

第4期計画のコンセプト “つながる” 地域共生社会

～ 多様な「つながる」で育む「地域共生社会」～

人とひと、人と自然が響き合い、みんなで幸せを紡ぐまち八王子

“つながる” 生活の基盤
(安心して暮らせる環境)

“つながる” 社会・経済の基盤
(地域を守る多様な資源)

必要な人に福祉の情報が “つながる”

地域住民

ボランティア・事業者

生活課題の深刻化

行政

市民力・地域力
(地域自治・共創)

社会参加
生きがいに
“つながる”

地域交流
市民同士が
“つながる”

“つながる”
地域
共生社会

共創
多様な主体が
地域と“つながる”

重層支援
行政支援が
“つながる”

普及啓発

福祉サービス
が“つながる”

“つながる” 公的な福祉基盤 (行政)
(サービス・専門職支援)

庁内連携

関係所管が
“つながる”

“つながる”
まちづくり
(関係所管)

分野別計画が“つながる” 施策を推進する地域福祉計画

【基本構想の都市像実現を目指す施策展開（未来デザイン2040より）】

第2編 健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

- (1) 誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進
- (2) 誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり
- (3) 保健医療の充実

第3編 生き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

- (1) 全ての子どもが健やかに育つ
- (2) 未来をひらく子どもを育てる教育

個別計画で各論を記載



分野横断的な“つながる”施策

地域共生社会を目指した横断的施策

包括的相談

課題把握・解決

参加支援

多機関連携

地域づくり

総合的な評価

高齢者計画

障害者計画

子ども・若者計画

重層的支援体制整備事業の充実を核とした基盤整備



“つながる”分野横断的な施策（R5.2.13分科会資料2-1 P.11より）

1 「地域福祉の担い手」の範囲や役割を整理・“つながる”仕組みの構築

市民(※)がつながりあい、地域福祉の担い手として役割を持ちながら、一体となって地づくりを進める仕組みを示す。

※ 基本計画より抜粋…市民に加え、働く方や学ぶ方、企業、大学、活動団体など多様な主体のこと

2 分野横断的な施策（重層的支援体制整備事業）の充実

主に次の3つの視点を重視した、関連所管との連携による施策を盛り込む。

- (1) 複雑化・複合化した地域課題への対応（はちまるサポートの機能強化）
- (2) 地域課題の予防・早期発見（課題の深刻化を予防する連携）
- (3) 施策毎の認知・理解の促進（福祉制度の周知度を向上）

3 第4期保健医療計画との連携

「健康を守る」保健医療施策との連携や医療データを活用した事業評価の実施

4 重層的支援体制整備事業実施計画を内包（目指す姿に向けた取り組みの深化）

- (1) 上記2(1)～(3)の取り組みを重点ポイントとして記載
- (2) はちまるサポートの配置計画を記載（基本構想の考え方を踏まえた設置方針）
- (3) 重層事業の事業目標、評価指標を記載（PDCAの運用）

第4期計画（（仮称）つながりプラン）の構成

第1章 計画策定にあたって（背景・位置づけ等）

第2章 八王子市をとりまく現状（数値、課題等）

第3章 計画の考え方

第4章 施策の展開

第5章 計画の推進

【目標と目指す姿】

- ・基本目標の意味
- ・目指す姿の考え方
- ・定義（担い手等）
- ・意識調査の内容

圏域の考え方

- ・2040の地域づくりと整合
- ・福祉圏域の考え方

計画の体系

- ・個別計画との関係性
- ・重点テーマ

【テーマ別取り組み】

- ・“つながる”をテーマにした考え方と仕組みを記載（イメージ参照）
- ・保健医療計画との連携 等

重層的支援体制整備事業（国ガイドラインによる記載すべき事項）

その他包含する方策等

- ・生活困窮者自立支援方策
- ・成年後見制度利用促進

主に本資料P.9の事項をテーマ（基盤・人材等）別に記載（カ点や評価等）

国ガイドライン等に基づき記載すべき項目を掲載

【計画の推進と評価】

- ・推進体制（専門分科会）
- ・アウトカム（最終目標）
- ・アウトプット（個別実績）
- ・個別施策との連動成果
- ・PDCAの運用プロセス

【計画の周知】

- ・市民周知
- ・地域づくりと連携した動き
- ・関係機関の紹介

資料集（用語等）



地域福祉計画のアウトカムイメージ ※詳細は今後検討 (新たな地域福祉計画策定に伴う意識調査から)

インプット

第4期地域福祉計画

- ～分野横断的な施策～
重層的支援体制整備
 1 重層の基本方針
 2 重層事業
 ・包括的相談支援
 ・参加支援 ほか
 3 事業目標・評価指標
 4 関係機関との連携
 成年後見制度利用促進
 生活困窮自立支援方策

まちづくり関係所管計画

- 1 地域づくり計画
 2 都市計画(交通含)
 3 防犯・防災
 4 産業
 5 学校教育 など

第4期保健医療計画

- 1 健康づくり
 2 医療体制整備 ほか

いきいきプラン八王子 (社協策定)

- 1 地域で支え合う
 2 安心して暮らす ほか

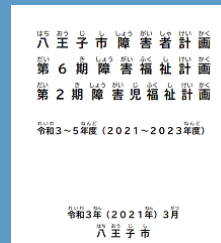
行政の関係所管の取り組みが「つながり」、
 個別計画の施策が充実するための仕組みを示す

インプットの充実で市民の暮らしやすさを向上

【高齢者計画・第9期介護保険事業計画】
 「高齢者が安心して暮らせる環境」である
 と感じている市民の割合向上
 (現状:37.0%)



【障害者計画・第7期障害福祉計画】
 「障害者(児)が安心して暮らせる環境」
 であると感じている市民の割合向上
 (現状:22.5%)



【子ども・若者育成支援計画】
 「子どもが安心して暮らせる環境」であると
 感じている市民の割合向上
 (現状:39.1%)

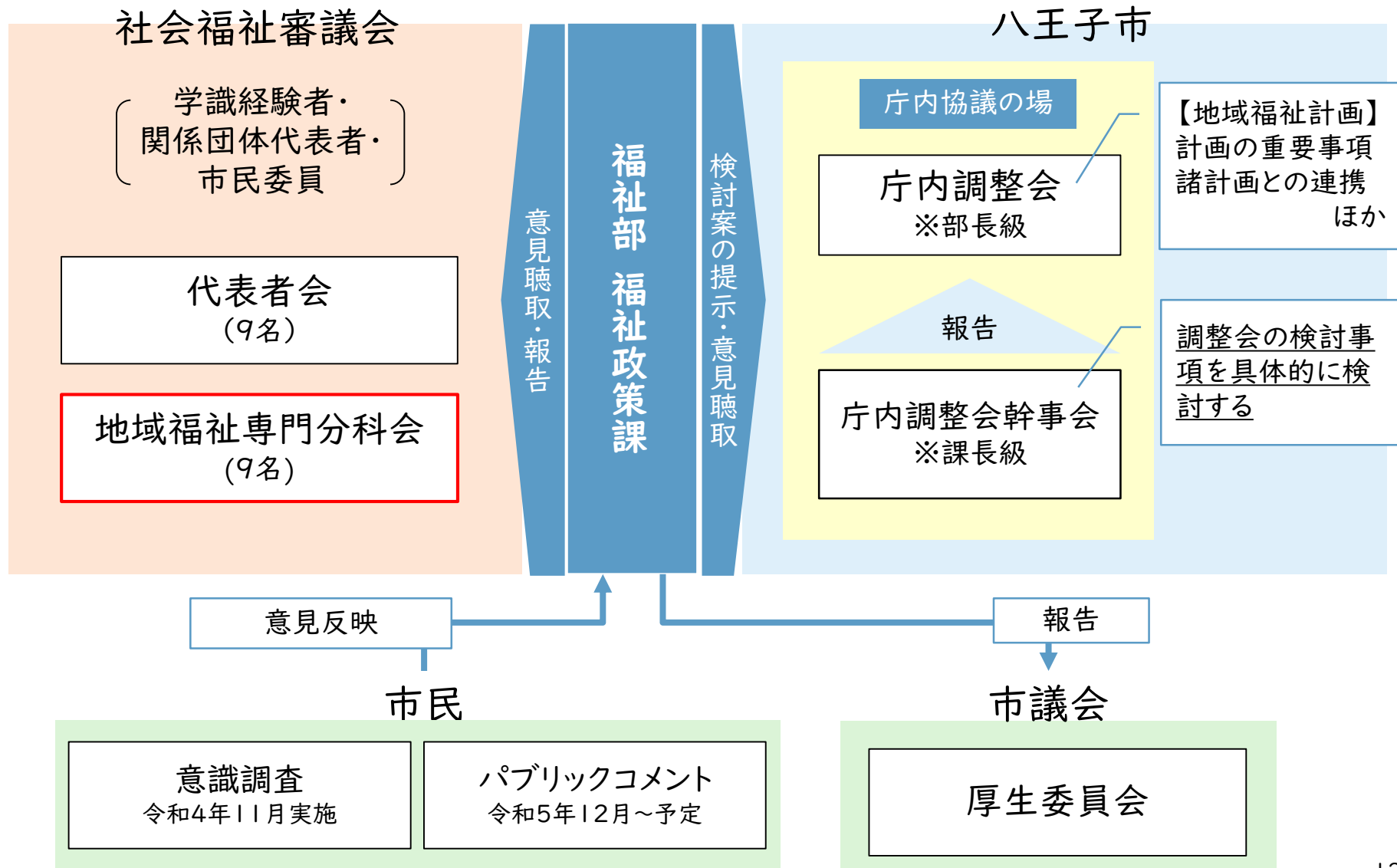


総合的な暮らしやすさ(現状値:59.9%)

「未来デザイン2040」で目指す未来の姿

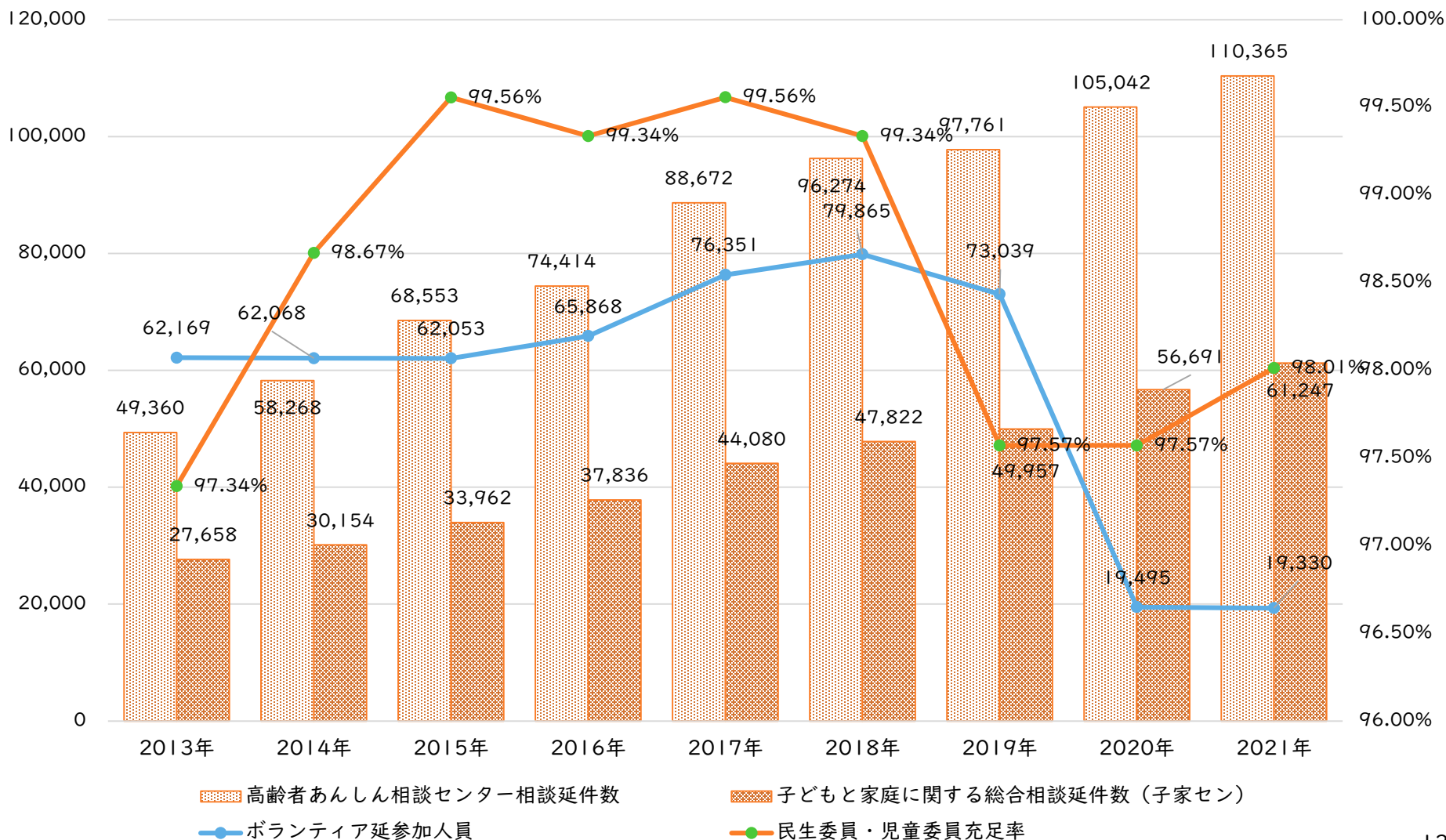
※意識調査で「かなり満足している」「まあ満足している」割合の計

参考：策定体制と会議体の役割(検討の場)



参考：相談件数に対する担い手の変化

各分野の相談件数と民生委員・児童委員の充足率



令和5年度 第2回 地域福祉専門分科会の予定

1 概要

開催日:令和5年7月31日(月) 午前中

場所: 本庁舎8階 805会議室

2 意見交換の主な案件(予定)

- (1) 第4期計画の重点施策(分野横断的な取り組み)
- (2) 第4期計画の評価指標(アウトカム・アウトプット等)

参考: 第2回前後のスケジュール

8~9月:素案作成(パブコメ用)、庁内調整会(部長級)・幹事会(課長級)での検討

10月17日:第3回分科会 計画素案意見交換

10月26日:政策会議(素案付議)

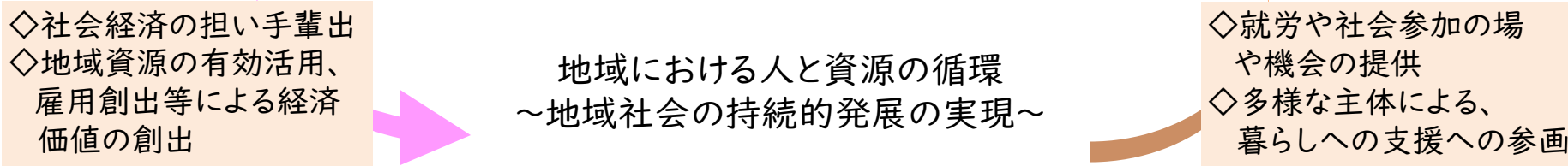
11月下旬:議会素案報告

12月中旬~1月中旬:パブリックコメント

※ 分野別計画(高齢・障害)も含めた詳細スケジュールについては資料1-3参照

参考：地域共生社会とは (令和2年11月11日厚生労働省説明資料より一部改変)

制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会



総合的な暮らしやすさ	R4	R2	H28
	59.9	66.6	61.8

		意識調査設問	R4	R2	H28	H28からR4 までの増減	備考
安心して暮らせる環境 (個別3計画の平均)	問8	高齢者が安心して暮らせる環境	37.0	38.2	34.6	2.4 pt	かなり満足している+まあ満足している
	問8	障害者(児)が安心して暮らせる環境	22.5	25.3	22.5	0.0 pt	かなり満足している+まあ満足している
	問8	子どもが安心して暮らせる環境	39.0	44.3	40.4	-1.4 pt	かなり満足している+まあ満足している

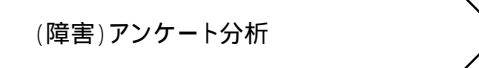
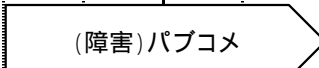
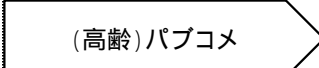
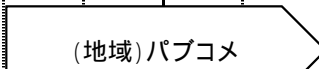
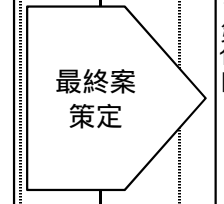
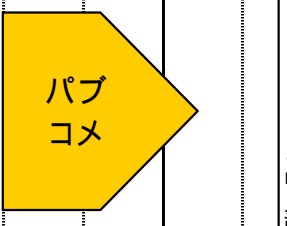
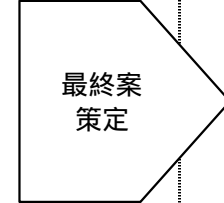
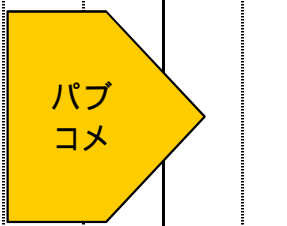
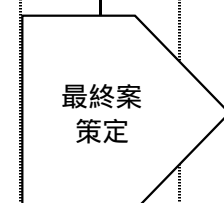
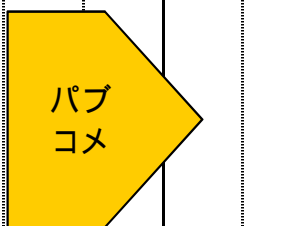
テーマ		意識調査設問	R4	R2	H28	H28からR4 までの増減	備考
テーマ 地域福祉を推進するしくみの充実 重点課題 多様化する福祉課題に対する包括 的な相談・支援体制の推進	テーマ目標	近隣に高齢・病気などで困っている世帯があった場合に、 民生委員・児童委員に相談する人の割合	2.5	7.2	7.1	-4.6 pt	問15「近所で悩みや不安、困り事がある場合誰に相談しているか」で民生委 員・児童委員を選択した割合
	テーマ目標	地域でおきる生活上の課題に対して、住民相 互の協力関係が必要だと思う人の割合	71.7	72.0	73.6	-1.9 pt	問16「地域でおきる生活上の問題に対して住民相互の協力関係が必要だと思 うか」でかなり必要だと思う+まあ必要だと思うの割合
	問8	隣近所などとのつきあい	56.1	58.0	57.4	-1.3 pt	かなり満足している+まあ満足している
	問10	日頃隣近所とどのようなつきあい方をしているか	11.8	16.1	19.5	-7.7 pt	困ったときには相談したり、助けあったりする+一緒にお茶を飲んだり、留守 の時に声をかけあったりする
	問11	今後隣近所とはどのようなつきあい方を望むか	32.5	34.6	42.7	-10.2 pt	困ったときには相談したり、助けあったりしたい+一緒にお茶を飲んだり、留 守の時に声をかけあったりしたい
テーマ 地域福祉活動支援・人材育成 重点課題 地域で福祉課題に取り組む人材の 確保	テーマ目標	地域での活動に担い手として参加したことがある人の割合	52.4	46.2	50.2	2.2 pt	問18「これまでに地域の活動に参加したことがあるか」ではいと回答した割合
	テーマ目標	福祉に関する地域活動に参加している人の割合	11.9	13.2	12.3	-0.4 pt	問18-2「これまでに参加した地域の活動はどのような活動か」の設問で福祉 と回答した割合
	問8	町会・自治会やボランティアなどの地域活動	32.6	37.3	38.6	-6.0 pt	かなり満足している+まあ満足している
	問8	地域の防犯体制	38.8	40.9	40.2	-1.4 pt	かなり満足している+まあ満足している
	問8	地域の防災体制	37.1	39.6	39.4	-2.3 pt	かなり満足している+まあ満足している
テーマ 福祉サービスの充実 重点課題 社会的弱者の社会的・経済的な自 立と生活の向上	テーマ目標	生活困窮者に対する相談窓口が市役所にあることを知って いる人の割合	25.2	57.1	54.7	-29.5 pt	問30「福祉部生活自立支援課に相談窓口を設置していることを知っている か」という設問で知っていて、利用したことがあるもしくは人に勧めたことが ある+知っているが、利用したことはないの割合
	テーマ目標	「成年後見制度」という制度や言葉を知っている人の割合	33.4	50.9	52.4	-19.0 pt	問24「福祉にかかわる制度や言葉の中で知っているもの」の設問で成年後見 制度の割合
	問25	福祉サービスや制度の仕組みはわかりやすいか	9.2	10.8	11.4	-2.2 pt	かなりわかりやすい+まあわかりやすい
	問26	今後福祉に関する講習や説明会などに参加したいと 思うか	46.1	48.7	51.5	-5.4 pt	参加したい+都合があえば参加したい

		意識調査設問	R4	R2	H28	H28からR4 までの増減	備考
保健医療計画の 推進分野	問8	健康に関する相談体制	34.2	32.4	28.8	5.4 pt	かなり満足している+まあ満足している
	問8	病院など医療体制の対応	52.8	52.4	47.3	5.5 pt	かなり満足している+まあ満足している

計画	令和5年4月			令和5年5月			令和5年6月			令和5年7月			令和5年8月			令和5年9月			令和5年10月			令和5年11月			令和5年12月			令和6年1月			令和6年2月			令和6年3月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
地域福祉計画				5/9 専門分科会 第1回 検討内容審議						7/31 専門分科会 第2回 検討内容審議						10/17 専門分科会 第3回 素案審議									パブコメ						2/6 専門分科会 第4回 最終案審議					
高齢者計画				4/21 庁内調整会幹事会 第1回	4/26 部会 第1回 検討内容審議					7/12 部会 第2回 検討内容審議			7/中 庁内調整会幹事会 第2回				8/9 部会 第3回 検討内容審議			9/26 部会 第4回 パブコメ案審議	9/下 庁内調整会幹事会 第3回				10/12 付議案件調整会議 素案付議	10/20 政策会議 素案付議	11/6 素案報告資料 議会送付	11/7 部会 第5回 パブコメ案審議	11/下 庁内調整会幹事会 第4回	1/下 庁内調整会幹事会 第2回	2/27 部会 第6回 素案審議			3/18 政策会議 完成版報告		
障害者計画				4/中 部会 第1回			5/中 部会 第2回			6/中 部会 第3回			7/中 部会 第4回			8/中 部会 第5回			9/中 部会 第6回			10/中 部会 第7回			11/中 部会 第8回			1/中 部会 第10回	2/中 部会 第11回							
意識調査																																				
計画策定 コンサル委託	地域福祉計画																																			
	障害者計画																																			

公表
議会報告(配布)

3/中 代表者会 第3回 最終案報告



地域福祉計画

障害者計画

No	委員	当日・追加	内容	ご意見	回答
1	黒岩委員	当日	資料1 2の取扱	資料1-2の内容を報告書にどのように位置づけるか。	調査報告書は調査結果の分析による客観的事実のみを掲載することとしております。一方、資料1 2の内容は調査を踏まえ、次期地域福祉計画の考え方を記載していることから、報告書には掲載しないこととし、策定時に活用いたします。
2	西村委員	当日	問9(生活状況)	経済的に困窮しているという項目について、30歳未満と30歳代が多くなっている。1人世帯やシングルマザー、非正規雇用など色々あると思うが、家族の人数などリンクしている項目やデータがあるか。	資料4の別添2のとおり。(年齢)と問4(同居者)などから年齢別の家族構成の傾向を分析しましたが、顕著な傾向は見られませんでした。(シングルマザー世帯については、調査で性別を取っていないことから、配偶者がいないかつ子がいる世帯として集計)
3	山下委員	当日	問9(生活状況)	「あてはまるものはない」が70%で大部分を占めている。調査からはわからないと思うが、追加調査等でわかるところはフォローしてもらいたい。	問9(生活状況)における選択肢「あてはまるものはない」は、課題を抱えていない方が選択されたものと考えます。なお、課題が選択肢にない場合は「その他」に記載いただいておりますので、別添1を参考にご確認ください。
4	山下委員	当日	問11(今後の隣近所とのつきあい方)	隣近所とのつきあい方について、30歳未満は相談したり助け合ったりということを感じていない問題がある。	
5	山下委員	当日	問18(地域活動への参加の有無)	地域活動への参加の有無について、30歳未満や30歳代が30%代で少ない問題がある。	30歳代の方を含め、地域活動等の関心や参加については、次期計画でも重要な取り組みになります。地域活動にも多様な参加の形があることから、それら参加に繋がりやすい啓発や仕組みを地域福祉計画の中で示していきたいと考えています。
6	山下委員	当日	問26(福祉に関する講習や説明会への参加希望)	福祉に関する講習や説明会への参加希望について、30歳未満や30歳代の関心がない。若い方にどのように関心を持ってもらうかが課題である。対策や要望として、早期教育が大切ではないか。特に幼稚園、5~6歳から行っていくことで、5~6年ではなく30年先を見据えて、小さい時に受けた教育を子どもに伝えることで、思想が広がったり、社会の考え方が変わって変えていくということを考えてほしい。長期目標として取り組んでほしい。	また、ご意見にあります「早期教育」につきましても、次期子ども・若者育成支援計画策定を次年度に控えておりますので、子ども分野・教育分野とも課題共有し、検討してまいります。
7	山下委員	当日	問12(新型コロナウイルスによりもっとも強く感じる影響)	新型コロナウイルスによりもっとも強く感じる影響について、生活困窮や関係の希薄化、心身への影響など、ストレートでわかりやすい説明になっている。「その他」は割合が高くはないが、かっこ書きで記入できるようにしており、どのような回答があったのか分析できるのであればお願いしたい。医療の立場から言うと、入院がなかなかできない、発熱外来が受診できないなど、非常に多くの問題があったため、どのようなことを感じていたのか疑問に思う。また、福祉分野では、ショートステイやリハビリなどの介護サービスが全く使えなくなり、ご家族も困ってしまい、疲労困憊となる実態があった。どのような意見があったのか調べてほしい。	問12の選択肢にある「その他」の項目を別添3にまとめましたので参考にをご覧ください。なお、問12(新型コロナウイルスによりもっとも強く感じる影響)につきましては、65件の意見の中で行動制限に関するものが18件、社会の変化に関するものが16件、コロナに起因する経営悪化に関するものが7件ありました。また、医療・介護に関することにつきましては、医療機関の逼迫に絡んでいる意見が1件ありました。
8	山下委員	当日	問18-4(地域活動に参加したいと思う条件や内容)	地域活動に参加したいと思う条件や内容について、東部地区と北部地区では、43~44%のかなり高い割合で「身近な場所で活動できる」と回答している。身近にそうした場所があるのかどうか、確認してもらいたい。	活動内容のニーズとあわせ、どのような地域資源(活動の場)があるかを更に確認していきます。なお、問18-4(地域活動に参加したいと思う条件や内容)は、問18(地域活動への参加の有無)で「いいえ(参加していない)」を選択した方が、どのような活動であれば参加したいかを確認する質問となっております。結果として、東部・北部地域には身近に地域活動に参加できる場所があまりいないため、身近な場所での活動ニーズが高くなっていると考えられますが、年齢別に見てみると、多くが「自由な時間に参加できる」と回答しており、時間に縛られない地域活動を希望していることが分かります。これらの傾向も踏まえ、どのような活動の場であれば参加者が増えるかを検討していきます。
9	榑原委員	追加	無作為抽出	無作為抽出の調査において、回答対象者の偏りなどはないか。	本調査における無作為抽出は、八王子市に住民票がある18歳以上の方を対象として、市内の6圏域の人口比に合わせて抽出しております。したがって、在住地域における偏りはありませんが、特定の属性(高齢、障害、性別、国籍等)は考慮していないことから、属性の観点からみると偏りが発生している可能性はあります。
10	榑原委員	追加	経年比較	年齢別回答状況も平成28年度のものに掲載し、経年比較ができるようにした方が良い。	いただいたご意見を踏まえ、平成28年度結果の掲載を調整しましたが、全ての結果を紙面の都合上難しいため、特に顕著な結果が見られるもののみ報告書に掲載いたしました。次回の参考とさせていただきます。
11	榑原委員	追加	問7(世帯年収)	年齢別世帯年収で30歳代の部分が多く得られていない割合が、特に稼働世帯の中で大きいところが気になる。「働いていても生活に苦しい」等、比率の大きい理由を分析してほしい。	年代、世帯年収、関連項目でクロス集計を行いました。30歳代の「あまり得られていない」の理由がわかるデータを得ることはできませんでした。次回の参考とさせていただきます。
12	西村委員	追加	無作為抽出	実施されたアンケート調査では、障がい者や外国籍の方などにも配付されたのかどうか、配布された場合、回収率はどのくらいあったのかを教えてください。	本調査の対象者は無作為抽出であるため、特定の属性を持つ方に調査票を配布できているかは確認ができません。一方、今回から書面に加えてWeb回答にも対応したことにより、記述が困難な方でも回答が可能となっており、意見を反映できる機会を増やすことにつながったのではないかと考えています。なお、回答数は約1,200件と前回並みであったため、今後の意識調査の実施にあたっては回答数の増加ができるよう改善方法を検討してまいります。

No.	問1 年齢	問3 居住地域(6圏域)	問9 生活においてあてはまるもの
1	53	北部	数年前までは家族の介護と仕事の両立で大変な日々でした。経済的にも介護にはお金がかかり生活も大変でした。
3	52	中央	老後の不安
10	78	中央	令和4年7月から令和7年7月までは運転出来るが足が遅くなり歩くのが大変になってきた。
71	79	無回答	どこに出るのもバスで、子供が小さい時は良いが高齢になったら今はまだいいが坂が多い為大変不便である。
77	55	東部	世帯主の収入が大幅に減り物価高もあって今後生活していけるか非常に不安
109	52	西部	公共交通手段の主がバスになりますが、バス代が高価です
117	43	中央	隣と上の階の音が気になる。今のアパートは壁が薄くて困っています。落ち着かない。
135	78	西南部	防災に対する行政が本当に対応万能か疑問である
143	41	西部	新生活で家の中で忙しくしている
157	64	東部	高齢者がサ高住に住んでいるが、ちよくちよく面倒を見に行っている
163	38	西南部	就職難世代で私達同級生達は皆苦労している
171	48	中央	家族の介護だけを担っている
178	80	西部	京王八王子駅行のバスがないので不便です。バスの交通をよくしてほしいです。
182	85	西南部	買い物は週2くらい
240	68	中央	引越して来て1年だが、外部との関係が築けない。コミュニティが八王子は活動が少ない。
319	81	東部	買い物、その他外出時の便がない
324	68	西南部	近くのスーパーが一軒のみで、車がないと不便。免許返納が難しい。
334	54	北部	子どもが不登校になり転入してきたため、対応するための時間で仕事時間が減少
398	72	北部	経済的に困窮とまではいかないが、少ない年金で生活するだけでいっぱいです
401	29	東部	介護で自分の時間をつくることができない
459	32	中央	仕事が不安定なため収入が不安定
463	60	東部	高齢者の介護に時間がとられる
472	79	東部	高齢者の集いの場所(会場など)が少ないと思う
488	52	中央	防災体制が取れていない
494	54	西南部	障害年金を受給している(2級)
570	75	中央	年金が少なすぎて長く生きたらどうしようと思う
586	84	中央	団地内の歩道、自転車が徐行しないので困る。
654	67	西部	障害者の生活なので自分の病院が不安
663	94	西部	介護施設にお世話になっている
720	49	西部	水道代や電気代が高い
830	78	中央	夫婦とも高齢者ゆえ思いつかず、あてはまるものがない
834	47	西南部	コロナの影響で自営業(飲食店)がとても厳しい。お客様が来ない。
855	74	北部	コロナ予防接種に外出しただけだが、外出の必要がない
861	64	東部	定年後の収入では生活費が不足するのでアルバイトを探している
883	76	西南部	病気など困難が起きた時に即対応してもらえるサポートがない
887	78	西部	毎日車で会社へ出勤している
889	60	東南部	今は仕事をしているが、仕事ができなくなった時が心配
903	63	中央	バスの運行本数が少ない
930	69	中央	お互いどこまで付き合ってよいのか、昔のように誰にも声をかけたいような。おせっかいとも言われるようで、若ママ達の気持ちがわからない。
947	22	西南部	妊娠している人が働けない。場所がないため収入に困っている。
952	31	北部	周りの学生が立ちたばこをしたり、ごみを捨てたりするのが困る。ルールを守って。
953	53	北部	老後の生活が不安
960	44	中央	夫が働いていない
50	54	西南部	配偶者がパーキンソン病になり、子供が統合失調症で、自分は病気になったら困ると思うし将来の介護が心配で希望を持ってない
95	27	東南部	軽度の障害で仕事に就いていない
96	29	北部	困窮ほどではないが、子どもが増えるため生活費や学費など経済面に不安があり、リフレッシュにお金がかけれない
169	31	中央	ガソリンが高騰しており車での外出を控えている。東京都とはいえ八王子市は車がないと生活しづらいため車検などにも市で助成金が出てほしい
195	55	東南部	レジャーに興味が無いので外出しようと思わない。
217	52	東部	大学生2人、私立高校生1人と学費が家庭を圧迫している

問1(年齢)×問7(世帯年収)×問9(生活状況)

問1 年齢(4区分): 30歳未満		合計	問9 あなたの生活においてあてはまるもの										
			仕事に就いておらず、生活の見通しが立たない	6か月以上、買い物以外で外に出かけていない	家族の介護と育児を両方担っている	高齢である自分が、高齢の家族を介護している	仕事に就かない子どもがいる	経済的に困窮している	移動手段が限られていて、外出が難しい	介護や育児で勉学に集中できない	その他	あてはまるものはない	無回答
全体		86	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	9.3	4.7	3.5	4.7	76.7	3.5
問7 世帯の年収	十分に得られている	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	89.5	5.3
	まあ得られている	46	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	2.2	4.3	4.3	78.3	4.3
	あまり得られていない	16	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	12.5	6.3	12.5	62.5	0.0
	まったく得られていない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0

問1 年齢(4区分): 30歳代		合計	問9 あなたの生活においてあてはまるもの										
			仕事に就いておらず、生活の見通しが立たない	6か月以上、買い物以外で外に出かけていない	家族の介護と育児を両方担っている	高齢である自分が、高齢の家族を介護している	仕事に就かない子どもがいる	経済的に困窮している	移動手段が限られていて、外出が難しい	介護や育児で勉学に集中できない	その他	あてはまるものはない	無回答
全体		106	3.8	2.8	1.9	0.0	2.8	13.2	4.7	1.9	3.8	73.6	4.7
問7 世帯の年収	十分に得られている	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.2	11.8
	まあ得られている	48	2.1	2.1	0.0	0.0	4.2	2.1	0.0	2.1	0.0	85.4	4.2
	あまり得られていない	30	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	23.3	13.3	3.3	10.0	63.3	3.3
	まったく得られていない	9	22.2	11.1	11.1	0.0	11.1	66.7	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0
	わからない	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問1 年齢(4区分): 40-50歳代		合計	問9 あなたの生活においてあてはまるもの										
			仕事に就いておらず、生活の見通しが立たない	6か月以上、買い物以外で外に出かけていない	家族の介護と育児を両方担っている	高齢である自分が、高齢の家族を介護している	仕事に就かない子どもがいる	経済的に困窮している	移動手段が限られていて、外出が難しい	介護や育児で勉学に集中できない	その他	あてはまるものはない	無回答
全体		367	2.7	2.5	1.6	1.1	2.7	7.9	2.5	1.1	4.6	77.7	3.5
問7 世帯の年収	十分に得られている	70	0.0	1.4	2.9	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	92.9	4.3
	まあ得られている	195	1.5	1.0	1.0	1.0	3.1	1.0	2.1	1.5	4.6	87.2	1.5
	あまり得られていない	75	0.0	4.0	2.7	1.3	4.0	20.0	5.3	1.3	9.3	54.7	8.0
	まったく得られていない	20	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	50.0	5.0	0.0	5.0	20.0	5.0
	わからない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0

問1 年齢(4区分): 60歳以上		合計	問9 あなたの生活においてあてはまるもの										
			仕事に就いておらず、生活の見通しが立たない	6か月以上、買い物以外で外に出かけていない	家族の介護と育児を両方担っている	高齢である自分が、高齢の家族を介護している	仕事に就かない子どもがいる	経済的に困窮している	移動手段が限られていて、外出が難しい	介護や育児で勉学に集中できない	その他	あてはまるものはない	無回答
全体		638	4.5	4.9	0.6	8.2	4.7	6.0	11.1	0.0	4.7	63.8	3.9
問7 世帯の年収	十分に得られている	63	0.0	0.0	0.0	3.2	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8	76.2	7.9
	まあ得られている	334	0.9	3.3	0.3	8.7	2.7	0.3	8.1	0.0	3.6	74.6	3.3
	あまり得られていない	169	8.9	8.9	0.0	8.3	8.3	8.9	17.8	0.0	7.1	47.9	3.6
	まったく得られていない	53	20.8	7.5	5.7	11.3	7.5	41.5	18.9	0.0	3.8	28.3	3.8
	わからない	17	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	76.5	5.9

問12 (新型コロナウイルスによりあなたがもっとも強く感じる影響)「その他」

No.	問1 年齢	問3 居住地域(6圏域)	問3 居住地域(14圏域)	問12 強く感じる影響	区分1	区分2
10	78	中央	本庁	今までは話も出来ました。今は認知症になり家族が大変になっているため話も人も老人通りになりさみしいです。	行動制限	
13	42	西南部	館	家族や職場に迷惑をかける	感染による影響	
71	79	無回答	無回答	コロナはいつ終わるのか、見通しがつかないので早く終息してほしい。	全般	
84	49	東部	南大沢	茶番へのいらだち	行政の対応	
92	86	東部	南大沢	スポーツ施設(プール)	行動制限	
95	66	東部	由木	いろいろなところへ出かけられない	行動制限	
97	47	中央	本庁	不要のお金がでる	その他	
108	34	中央	本庁	飽きた	その他	
115	79	西南部	館	話などで付き合えれば	行動制限	関係の希薄化
117	43	中央	本庁	仕事が減ったのか、部屋での1日中過ごす隣人の生活音がとても気になる	コロナ経営悪化	
123	46	西南部	館	制限による子どもへの影響	行動制限	
135	78	西南部	館	行政の対策が非常に他人任せで不安	行政の対応	
136	63	中央	本庁	医療機関のひっ迫	医療ひっ迫	
143	41	西部	元八王子	体力低下	行動制限	
145	49	中央	本庁	外出制限	行動制限	
240	68	中央	本庁	飲食店などの閉店	コロナ経営悪化	
272	41	東部	由木	生活費用について	生活困窮	
321	34	東部	南大沢	仕事が忙しくなった	社会の変化	
351	34	中央	本庁	ワクチンによる差別	ワクチン	
352	80	中央	本庁	友人と会えない	行動制限	
378	47	西南部	館	衛生状態が気になりすぎる。主に飲食店、家族の手洗いうがいなど。	衛生への懸念	
389	41	西南部	横山	フィジカルディスタンスができて生きやすくなった	社会の変化	
432	74	東南部	北野	感染防止のため親族との交流を限られる	行動制限	
472	79	東部	南大沢	公共交通機関の利用が怖い	衛生への懸念	
476	27	西部	元八王子	家族全員が一度にコロナにかかり生活が大変だった	感染による影響	
482	63	西南部	横山	仕事の減少	コロナ経営悪化	
535	41	北部	加住	バスの中の人が減った(良い)	衛生への懸念	
555	88	西部	元八王子	友人関係の希薄化	関係の希薄化	
607	31	東部	由木東	給料の減額	コロナ経営悪化	生活困窮
610	44	東部	南大沢	給付金支給の不平等さ	行政の対応	
631	62	西南部	館	再就職	コロナ経営悪化	
669	45	西部	元八王子	出かけたが人が密集することが想像できるところは避けている	衛生への懸念	
674	45	東南部	北野	行政への不満	行政の対応	
687	80	西南部	横山	旅行に行けない	行動制限	
689	81	中央	本庁	外出数が減少した	行動制限	
720	49	西部	元八王子	物価が高すぎる	物価高騰	
735	79	中央	本庁	外食をしたくてもコロナが心配で思うように出かけられない	行動制限	
760	49	中央	本庁	マスク生活	社会の変化	
781	34	西南部	横山	マスク	社会の変化	
785	42	西部	川口	療養による収入減	生活困窮	
816	51	北部	石川	マスク何とかしてほしい	社会の変化	
834	47	西南部	浅川	自営業(飲食店)が厳しい。お客様が来ない。	コロナ経営悪化	
855	74	北部	加住	物価高	物価高騰	
894	59	中央	本庁	マスク	社会の変化	
901	19	西南部	館	コロナに対する周りの人へ対しての価値観	社会の変化	
903	63	中央	本庁	病院が面会を許可しない	行動制限	
914	45	東部	由木	物価高騰、政治家が大した政策をしない	物価高騰	政治
930	69	中央	本庁	自営業のため、ぐっとお客様が減った	コロナ経営悪化	
936	77	東部	由木	主人の愚痴が又要介護になり外にも1人で自由がなくなり	行動制限	
937	89	東南部	北野	外出	行動制限	
952	31	北部	加住	福祉関係なので、家族にうつさないか不安	衛生への懸念	
web114	47	東部	南大沢	ワクチン接種の副作用による健康被害	ワクチン	
web115	57	中央	本庁	自宅待機により残業出来ない	社会の変化	
web116	49	西南部	浅川	イベント制限や行動自粛にとまなう子どもへのストレス	行動制限	子どもへの影響
web117	47	中央	本庁	受験が大変です。	社会の変化	
web131	21	北部	石川	経済不況(物価の上昇等)	物価高騰	
web14	18	東部	南大沢	学生生活の変化	行動制限	
web17	43	東部	由木	マスク着用の同調圧力	社会の変化	
web171	57	北部	加住	0か100か、良いか悪いか、健康か病気が。どちらか極端な思考しか出来なくなってしまう異常で極端な社会になりつつあること。	社会の変化	
web185	50	中央	本庁	マスク生活の同調圧力	社会の変化	
web187	46	東部	由木	リモートワークや混雑の緩和など暮らしやすくなった	社会の変化	
web217	52	東部	南大沢	持病を持つ両親と私がいつコロナにかかるか心配が尽きない	感染への懸念	
web224	58	東部	由木	職場や関係先とのコミュニケーション不足	関係の希薄化	
web233	20	東部	南大沢	学校生活の充実度が低い	行動制限	
web37	44	東南部	北野	非接触が可能な環境への変化、衛生観念の向上で以前よりも安心して施設を利用できる。	社会の変化	
web49	32	中央	本庁	マスク生活による息苦しさ。	社会の変化	
web60	63	西南部	横山	マスクをしなかなければならない時があること	社会の変化	

行ラベル	データの個数 / 項目
コロナ経営悪化	7
その他	2
ワクチン	2
医療ひっ迫	1
衛生への懸念	5
感染による影響	2
感染への懸念	1
関係の希薄化	2
行政の対応	4
行動制限	18
社会の変化	16
生活困窮	2
全般	1
物価高騰	4
(空白)	
総計	67



5月22日
移転!!

はちまるサポート由井

由井市民センターから由井事務所に移転!

「どこに相談したらいいのかわからない…」
そんな生活や地域の「お困りごと」はありませんか？
そのご相談、「はちまるサポート由井」がお聞きします！

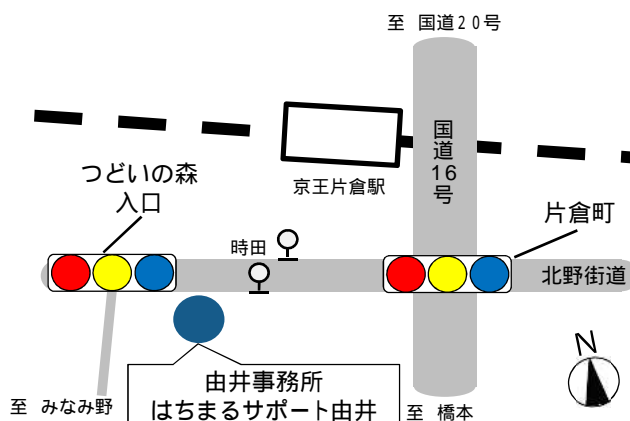
住所: 八王子市片倉町119-4 由井事務所内

連絡先: (TEL) 683-2111 (FAX) 683-2112

開所日: 月～土曜日 9時～17時 (休日: 日曜日、祝日、年末年始 12/29～1/3)



〈由井事務所〉



「はちまるサポート」ってなに？



〈はちまるサポート(市内12カ所)〉

令和5年(2023年)2月時点

「はちまるサポート」は、八王子市が八王子市社会福祉協議会と連携して運営する地域の相談窓口です。

地域福祉の専門職が、住民の皆様のどこに相談すればよいかかわからない「困りごと」をお聞きし、他の支援機関や地域の方々と力を合わせて、問題解決に向け取り組みます。

はちまるサポートの正式名称は、「八王子まるごとサポートセンター」です。

【お問い合わせ】八王子市福祉部 福祉政策課
(TEL)042-620-7241 (FAX)042-628-2477

市議会議員 各位

福祉部長

高齢者あんしん相談センター及びはちまるサポートの移転及び名称変更について

標記の件について、市民の利便性の向上、高齢者の総合相談支援及び重層的支援との連携の充実を図るため、下記のとおり地域事務所へ移転しますので報告します。

記

1 移転の概要

(1) 加住事務所への移転

	移 転 前	移 転 後
名称	高齢者あんしん相談センター左入	高齢者あんしん相談センター加住
場所	左入町 372-4	加住事務所内
閉開所日	令和5年5月13日(土)17:30閉所	令和5年5月15日(月)9:00開所
名称	はちまるサポート加住	
場所	加住事務所内	
閉開所日	令和5年10月新設予定	

(2) 由井事務所への移転

	移 転 前	移 転 後
名称	高齢者あんしん相談センター片倉	高齢者あんしん相談センター由井
場所	片倉町 440-2	由井事務所内
閉開所日	令和5年5月20日(土)17:30閉所	令和5年5月22日(月)9:00開所
名称	はちまるサポート由井	
場所	由井市民センター内	由井事務所内
閉開所日	令和5年5月20日(土)17:00閉所	令和5年5月22日(月)9:00開所

開所時間、担当圏域、電話番号、運営法人の変更はありません。

2 周知方法

広報はちおうじ(5月1日号)への掲載

市ホームページへの掲載

近隣町会・自治会への説明

関係機関への周知

① 警察・消防等

② 介護保険サービス事業所等

問い合わせ先 【高齢者あんしん相談センター】 福祉部高齢者福祉課長 富山

042-620-7244 内線 2152

【はちまるサポート】

福祉部福祉政策課長 柏田

042-620-7241 内線 2802

【配置図】

< 高齢者あんしん相談センター加住(旧左入)、はちまるサポート加住(令和5年10月新設予定) >

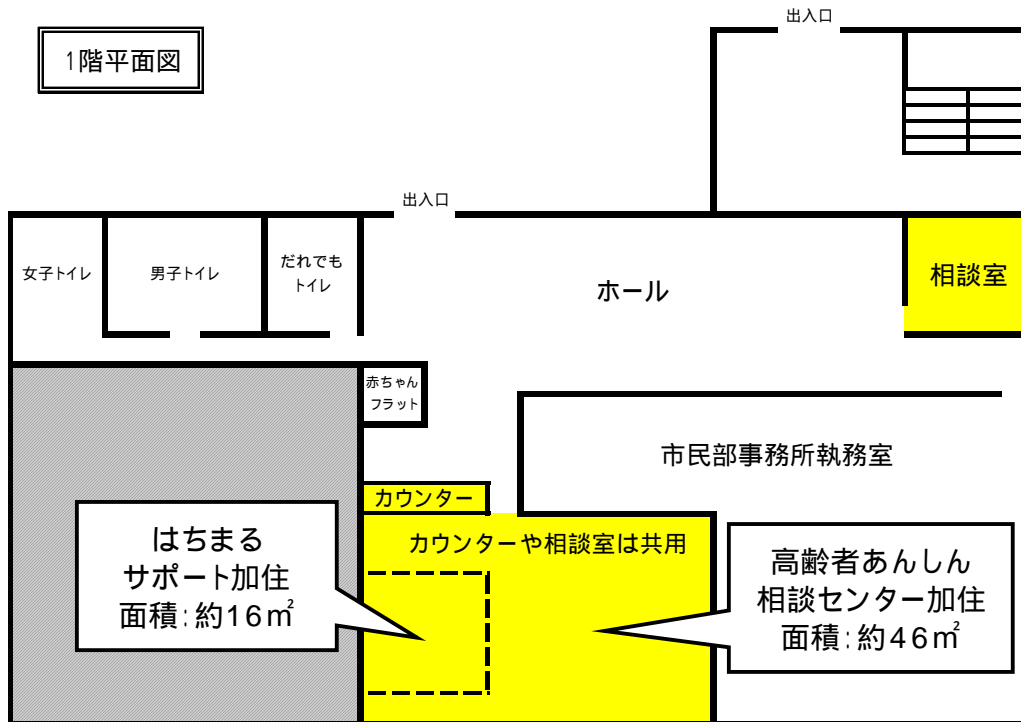


< 高齢者あんしん相談センター由井(旧片倉)、はちまるサポート由井 >



【レイアウト図】

< 高齢者あんしん相談センター加住(旧左入)、はちまるサポート加住(令和5年10月新設予定) >



< 高齢者あんしん相談センター由井(旧片倉)、はちまるサポート由井 >

